



富山県芸術文化祭2000

第49回富山県芸術祭演劇公演

ドラマフェスティバル第3弾



ミニシアター イン コラーレ

入場料：全席自由（一般） 1日通し券 1,200円
 2日通し券 2,000円
 (高校生以下) 2日通し券 500円

黒部市国際文化センター コラーレ

2001
3
月

日 時	出演団体	演 目	会 場
24 土	18:00 劇団フロンティア	「ハックルベリーにさよならを」	M
	19:30 劇団文芸座	一人芝居「とらVII」	M
	20:30 劇団てあとろの会	「愛しのメディア」	C
25 日	14:00 遊人企画 KAN-TAN	「エリーゼのために」	M
	16:10 プロジェクトUG	「気のいい火山弾」	C
	17:30 しろーと劇団 Zipang	昔話「蛙になつたほたもち」「ベニイはかりの智恵」	M
	18:45 unit. L. E. D発光ダイオード	かみかいたごっく 「幻想的秋」	C

C…カーターホール M…マルチホール

■お問い合わせ

財団法人 黒部市国際文化センター
 TEL(0765)57-1201

■プレイガイド

[黒部]	コラーレ	☎ (0765)57-1201
	メリシー	☎ (0765)54-2221
	ロイヤルパリー黒部	☎ (0765)54-1000
[魚津]	新川文化ホール	☎ (0765)23-1123
	魚津サンプラザ	☎ (0765)24-3030
[入善]	コスモホール	☎ (0765)72-1105
	コスモ21	☎ (0765)74-9100
[守山]	宇奈月国際会館	☎ (0765)62-2000
	アスカ	☎ (0765)82-2000
[砺山]	インフォマート	
	[市民プラザ]	☎ (076)491-0110
	[CIC駅前店]	☎ (076)444-7013
[高岡]	高岡大和	☎ (0766)27-1774

3月24日 土

劇団フロンティア

「ハックルベリーにさよならを」

代表／亀谷政春 作／成井豊 演出／鮫沢祐二

マーク・トウェーンの小説「ハックルベリー・フィンの冒険」では、文明化されることを嫌う少年ハックが黒人ジムとともにミシシッピー川を筏で下り、その間に様々なことに遭遇する。『ハックルベリーにさよならを』では、少年“ケンジ”の中のもう一人の“ボク”が物語の進行役を務めている。自分の中に存在する、もう一人の客観的な自分が時空を超えて存在するとしたら……。社会を構成する最小単位、夫婦や親子、そして家族とは……。誰もが持っている嫉妬や憧れや夢とは……。

これは劇団フロンティア“ジュニアメンバー”が皆さまに贈る、一人の少年ケンジの成長の物語である。



劇団文芸座

一人芝居「とらVII」

作／田中千禾夫 演出／小泉博 出演／谷井美夫

家庭、料理、夫婦和合の虎(とら)の巻を売る露天商が口上を述べるうち、つい酒に手が出て、挙げ句のはて大トラブルになってしまう。肝腎の虎の巻は一冊も売れない。

風刺の効いた語りは、時代に漂う人間への哀歌。



劇団てあとろの会

「愛しのメディア」

統括製作／古賀盛大 演出／島田貴久 演出助手／河原佳奈子

海から女たち(メディア)が、トランクを持ってやってくる。小高い丘に立ち、街を見おろしていると草太、ロクが走ってくる。

二人は、今日もギリシャ神話に出てくる憧れの街「イオルコス」をめざして、走り続けている……。

メディアの歌や踊りにも、注目して下さい。



3月25日 日

遊人企画KAN-TAN

「エリーゼのために」

代表／ノジダイスケ 作／O.K.P.T 演出／三橋能子

なぜ人に物語が必要なのか。所詮作り事じやないか。なのになぜ、人は虚構の世界に一体何を求めているというんだ。

遊人企画KAN-TANが新世紀に贈る、最初で最後の「やくざ版ハムレット」、乞う御期待！



プロジェクトUG

「気のいい火山弾」

代表／とみたゆうじ

出演／黒部市生涯学習講座

「楽しいお芝居教室」
受講生のみなさん

演出／人間の価値、
生きることの
意義を考えました。
(スピル・ハン・バーグ)



しろーと劇団 Zipang

〈Zipang〉 「蛙になったぼたもち」 昔話二題 「1ペニイばかりの智恵」

代表／鯨岡みや子
脚色／ドクトル・ジパング
演出／Dr. Zipang

「チョン、チョン、チョン！」
マルチホールが

おせんにキャラメル、お茶は
いかがあ～!?



芝居小屋に早変わりい～！

unit.L.E.D 発光ダイオード

脚本・演出・監督
西野 裕

ふ あ ん た ぢ つ く

幻 想 的

それは……「幻」だったのかもしれない……。
あなたへの「想」も……何もかも、が……。
すべてが感傷的……に……光を失ってしまう……。
色褪せてゆく秋……季節と呼ぶには、
あまりにも多い。

秋

